

人に温かく、環境にやさしい 最高級クラスの病院を目指して



施設整備概要

建設地：現市民病院敷地内
階数：地上8階
構造：鉄骨造
延床面積：16,660㎡
病床数：215床
診療科：14科
駐車場：約360台

【問い合わせ先】

新病院建設室（☎ 83-2355）

新市民病院の設計方針（基本コンセプト）

- ◎費用対効果の高い「ローコスト」病院
- ◎「機能性」を最重要視した医療環境
- ◎「快適性」豊かな治療環境
- ◎「柔軟性」のある建築空間
- ◎医療業務を絶えず提供するための「安全性」の確保
- ◎エネルギーを多く消費する施設である病院建物について、計画・設計・建設・運用を一体的にとらえライフサイクルコストを低減
- ◎地球環境配慮の技術を総合的に提供する設計とし、患者の快適性を向上
- ◎「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」において、Sランクの取得を目指す
※「CASBEE」：省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム

環境計画

機能性

- ◇高効率・合理的な照明計画を行い、光ダクトの導入や明るさ感を考慮した計画とします。
- ◇CGS（コ・ジェネレーションシステム）により契約電力量を低減します。

居住性

- ◇24時間使用する病棟部分は、高断熱外壁材、ペアガラス、断熱サッシの使用、^{ひきし}庇の設置や雨水の壁面散水により空調負荷を低減します。また5階床^{くたい}躯体への蓄熱も行います。

安全性

- ◇CGS保安電力により、非常用発電機容量を確保します。
- ◇透析用水（24時間）、トイレ用雑用水を確保します。また災害時の汚水貯留槽も確保します。

環境性

- ◇雨水は貯留し再利用します。
- ◇CGS発電での排熱は給湯・空調へ有効利用します。
- ◇太陽光発電設備を導入するとともに、太陽熱温水を冬期補助暖房、夏期除湿後再熱に利用します。
- ◇地中熱利用、外気の有効利用を行います。